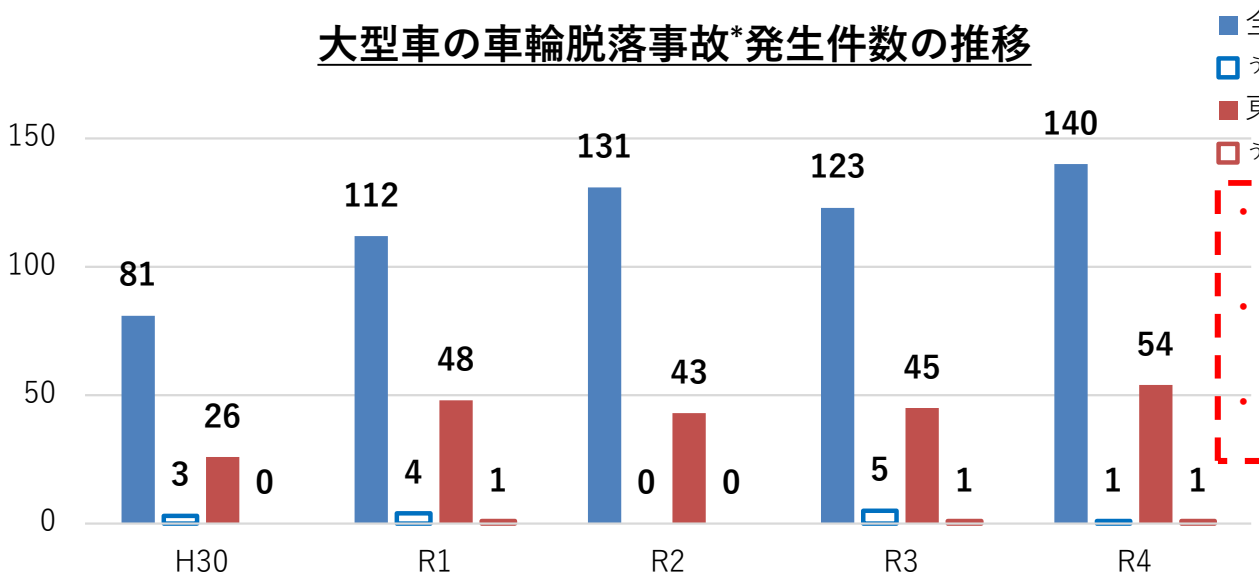
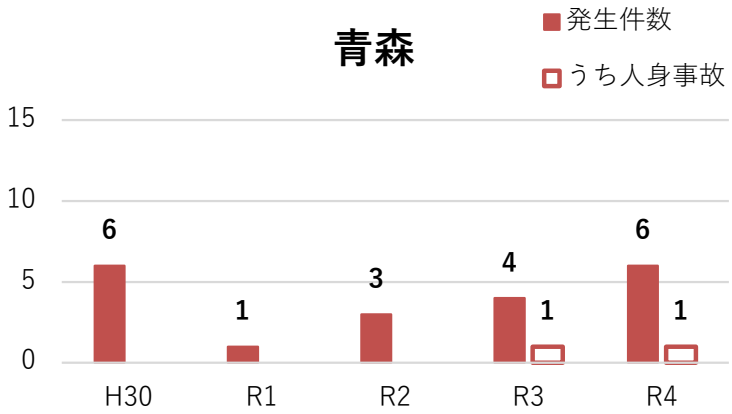
東北管内車輪脱落事故発生状況（令和４年度）　【別紙１】

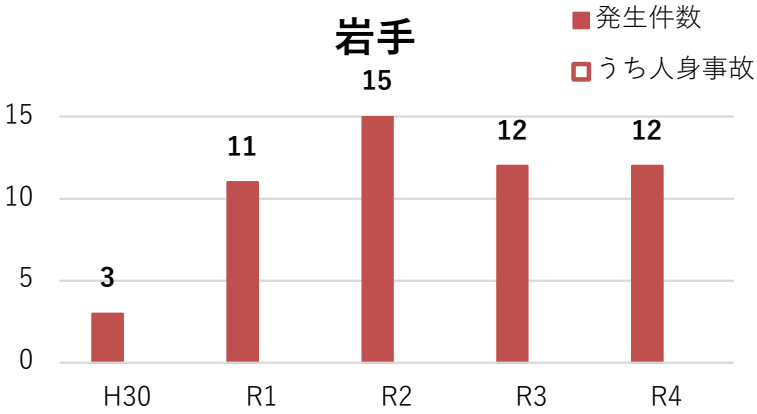
大型車の車輪脱落事故*発生件数の推移

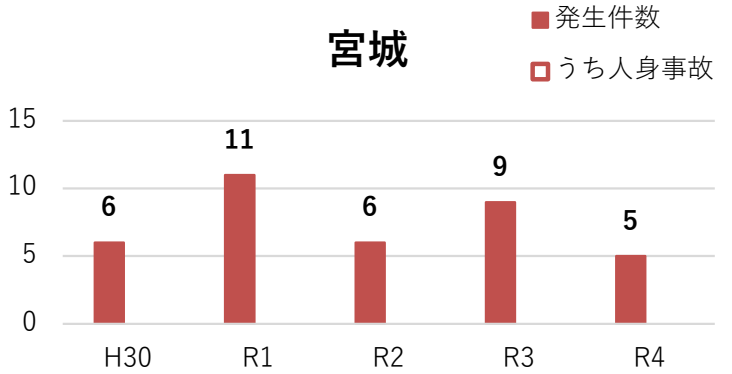


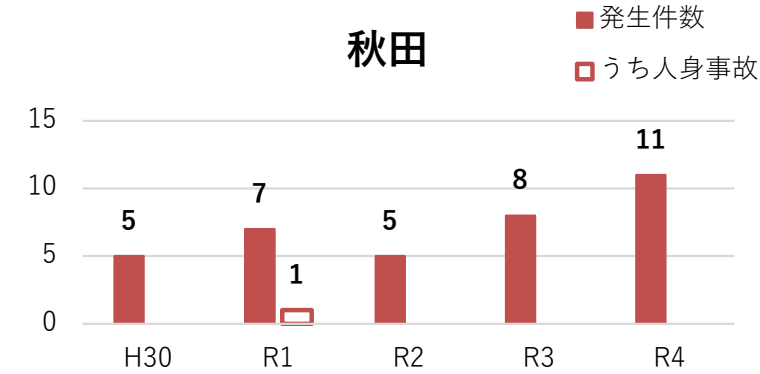
- 事故件数は、対前年度全国で17件、東北で9件増加
- 事故件数は、全国及び東北いずれも過去最多となった
- 人身事故についても1件発生している

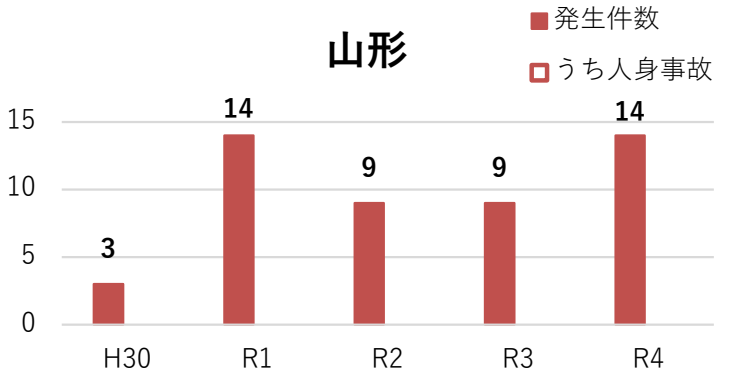
※車両総重量8トン以上の自動車又は乗車定員30人以上の自動車であって、車輪を取り付けるホイール・ボルトの折損又はホイール・ナットの脱落により車輪が自動車から脱落した事故

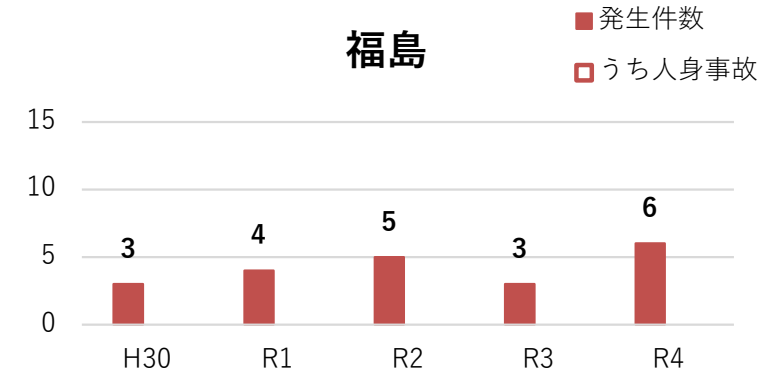








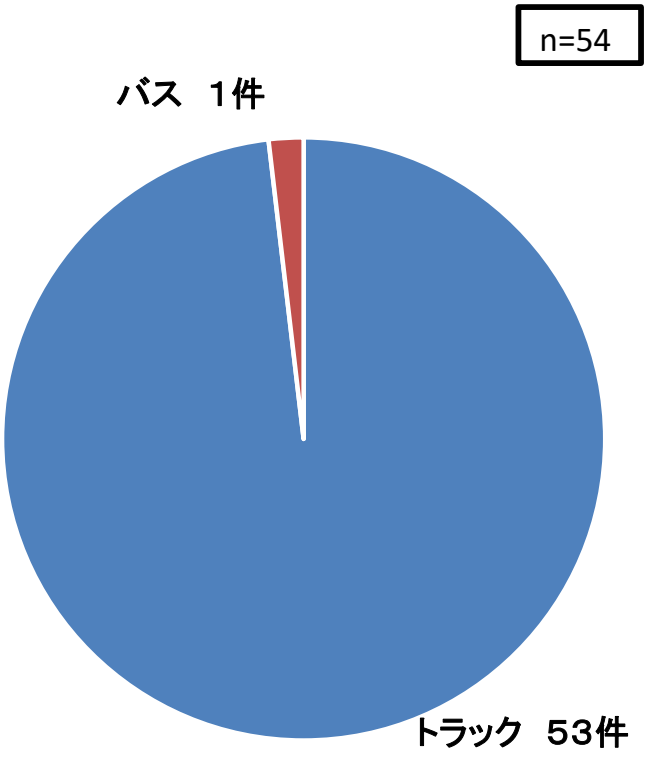




出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

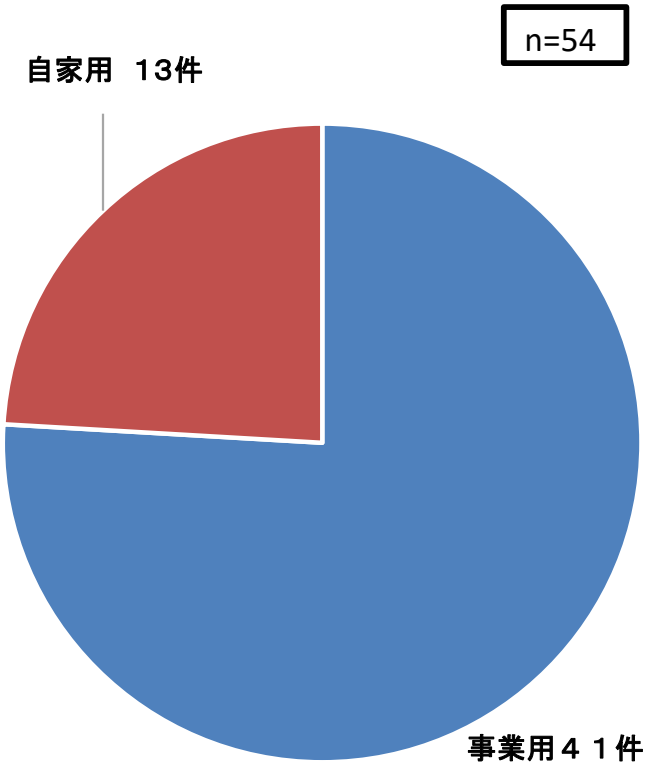
東北管内車輪脱落事故発生状況（令和４年度）

業態別（大型バス・大型トラック）



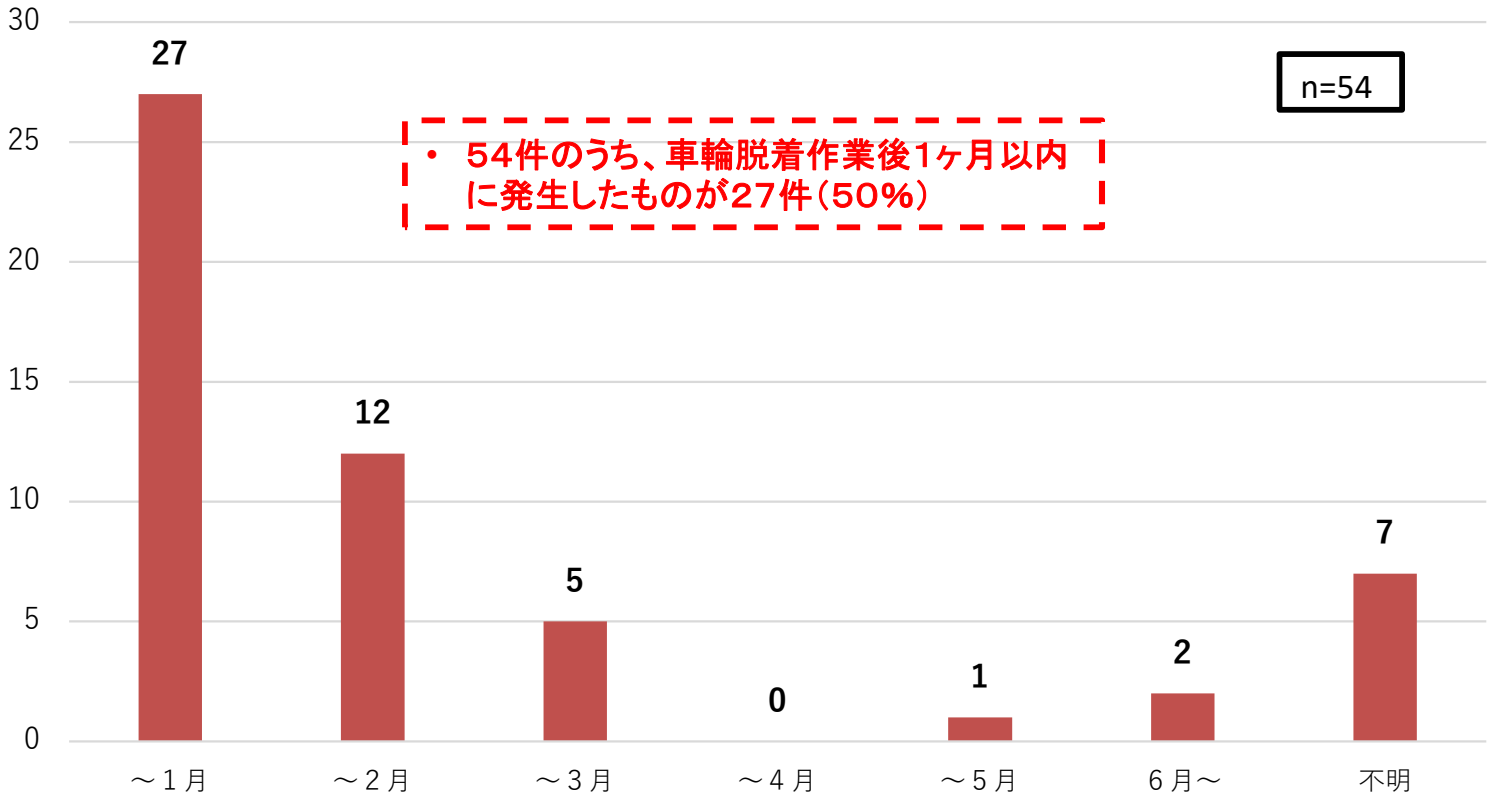
・ バスでも1件発生しているが、ほぼトラックが脱落している

事業用・自家用別



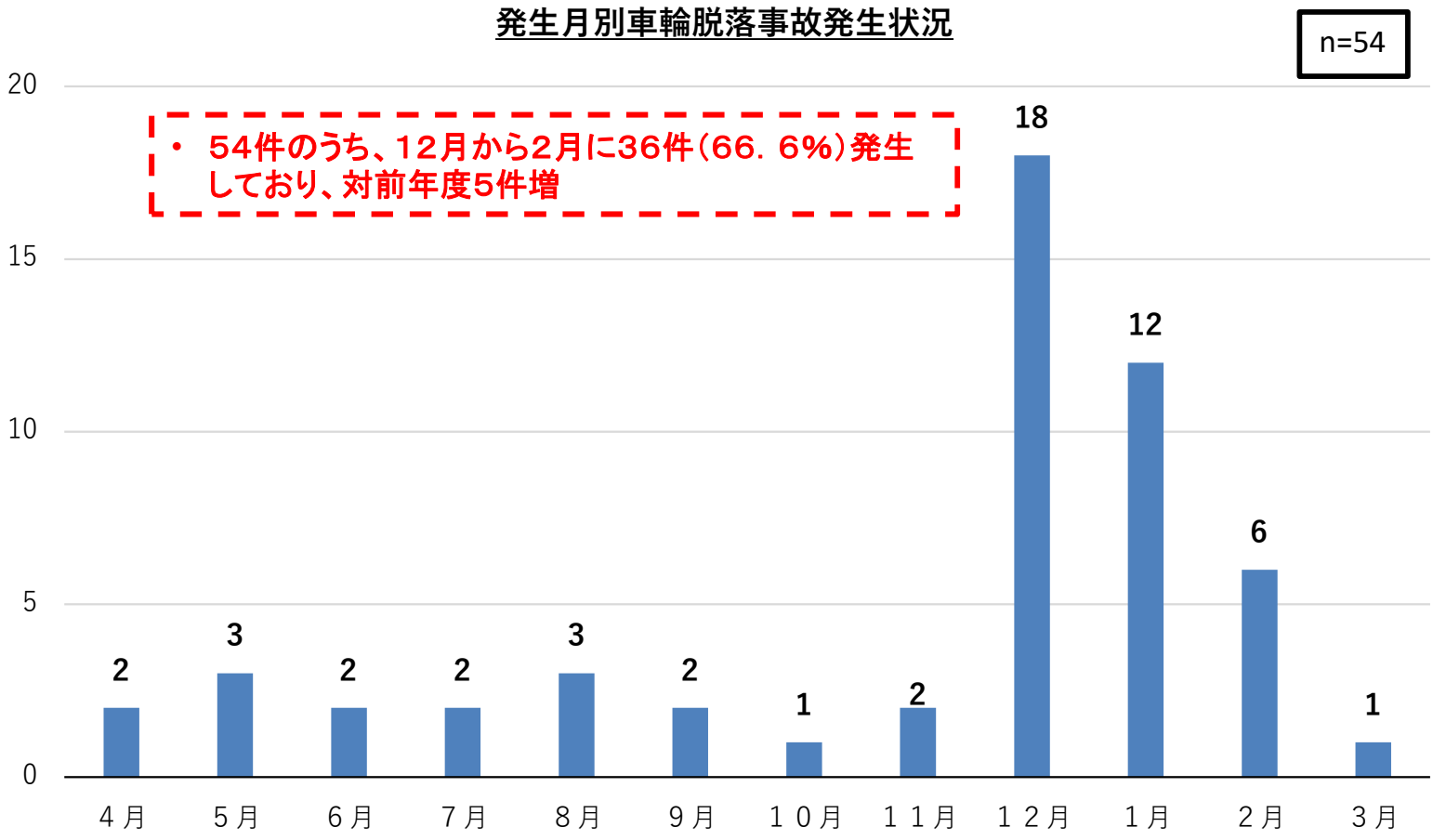
・ 前年度から事業用が9件増加

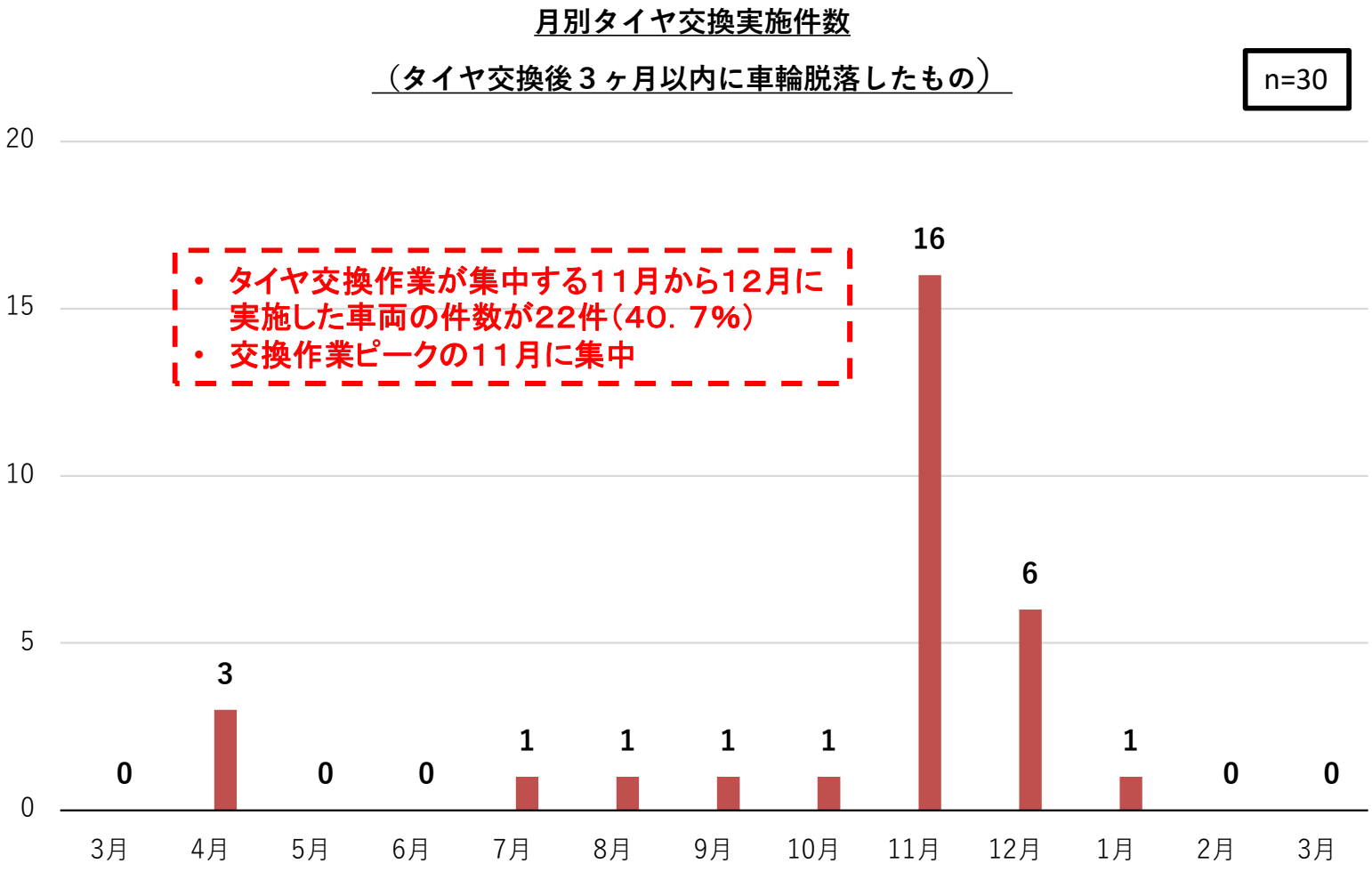
車輪脱着作業から事故発生までの期間別件数



出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

東北管内車輪脱落事故発生状況（令和４年度）



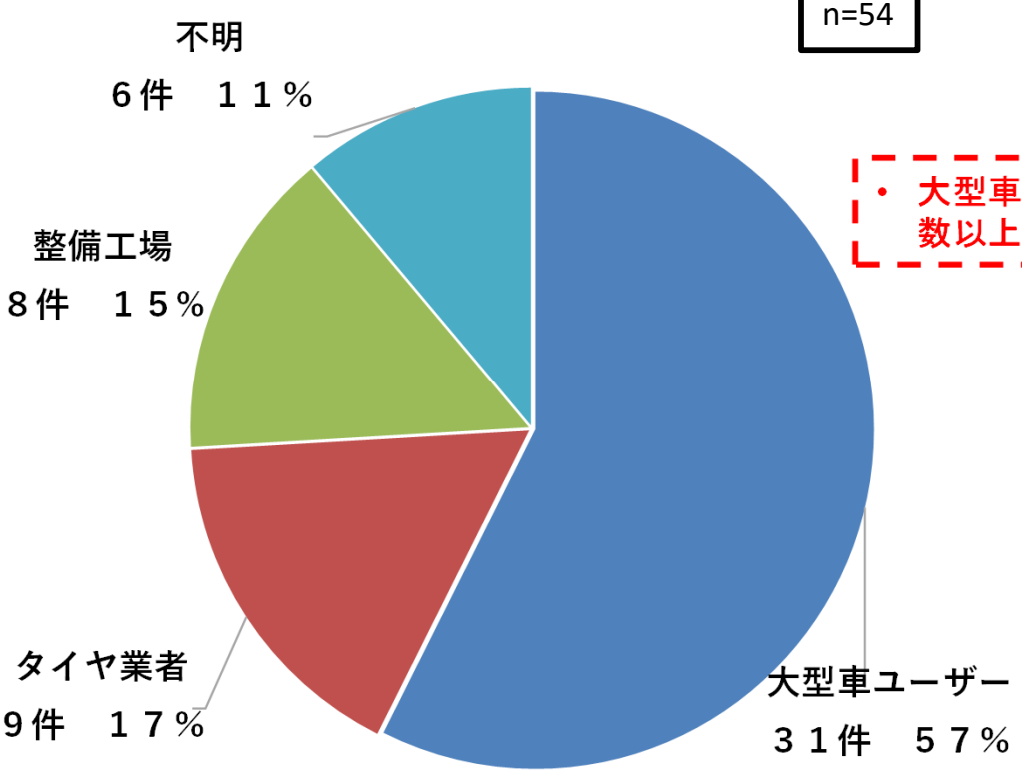


出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

東北管内車輪脱落事故発生状況（令和４年度）

タイヤ脱着作業実施者別

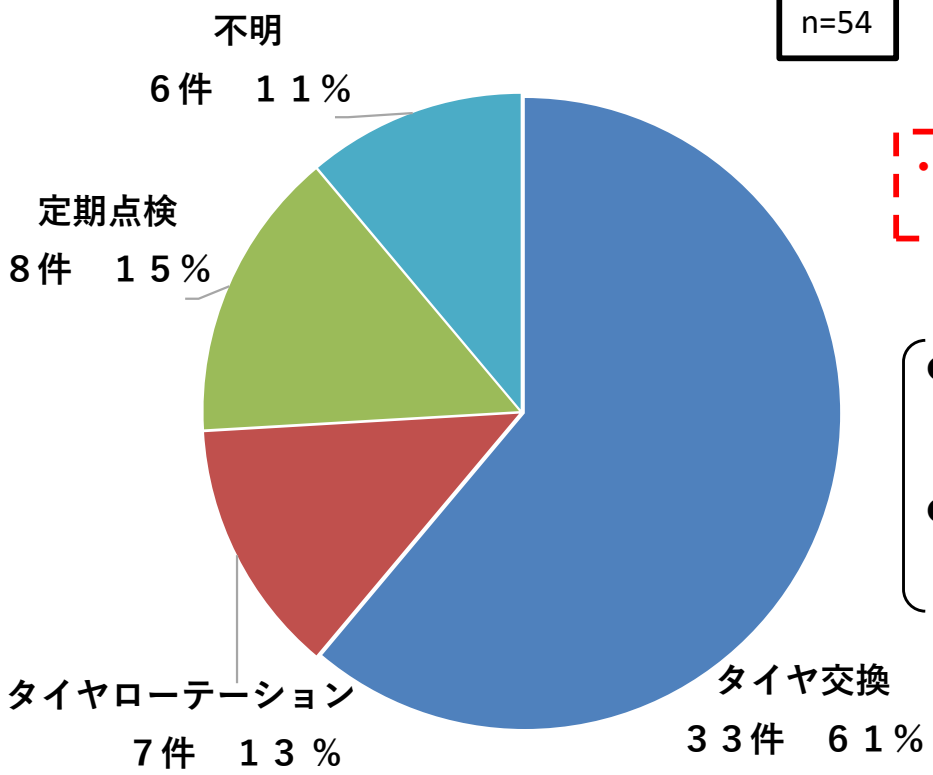
n=54



・ 大型車ユーザーの交換によるものが半数以上を占める傾向で前年度と同比

タイヤ脱着作業内容別

n=54



・ タイヤ交換、タイヤローテーションが大半を占める

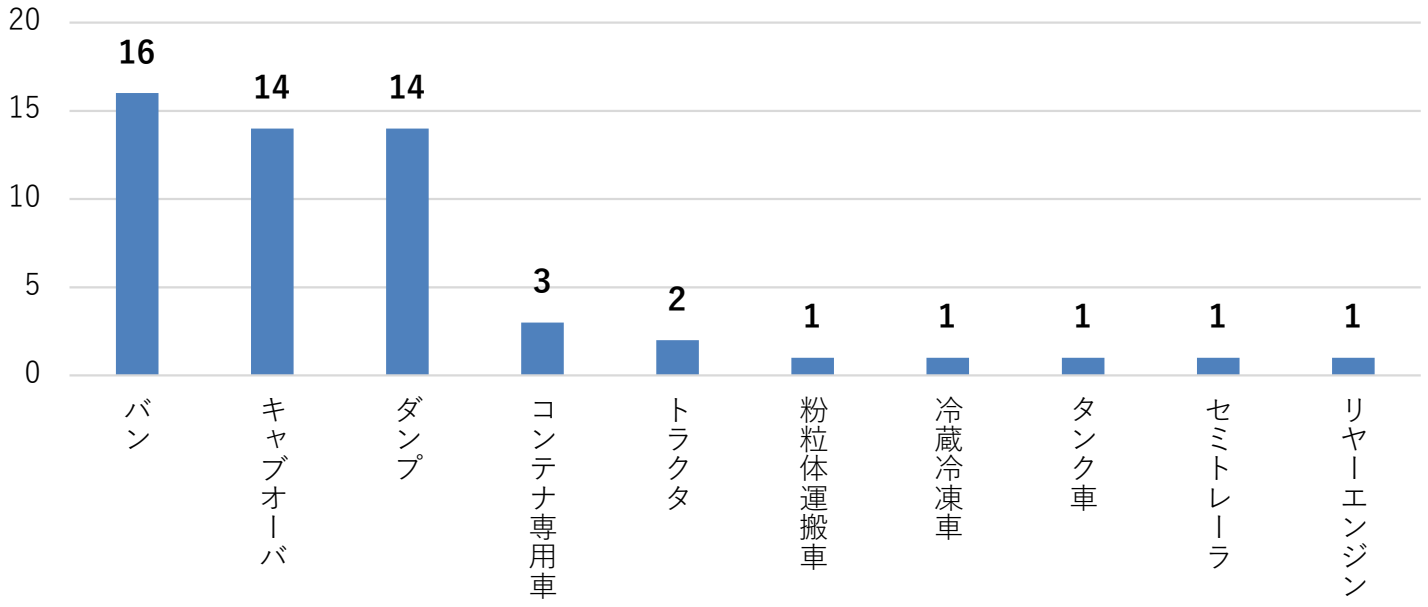
●タイヤ交換
・通常タイヤから冬用タイヤへの交換
・冬用タイヤから通常タイヤへの交換
・パンクや摩耗したタイヤの交換　　など
●タイヤローテーション
・タイヤの摩耗が偏る事を防止するため、前後・左右のタイヤを入れ替える

出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

東北管内車輪脱落事故発生状況（令和４年度）

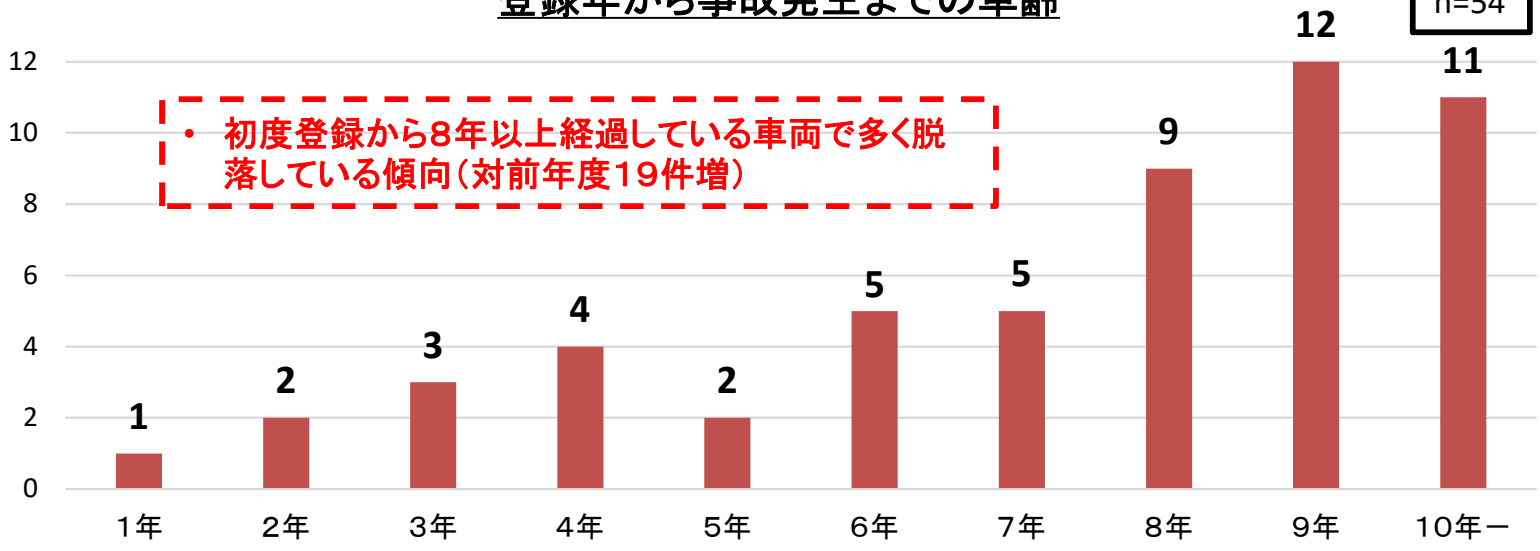
車体の形状別発生件数

n=54



登録年から事故発生までの車齢

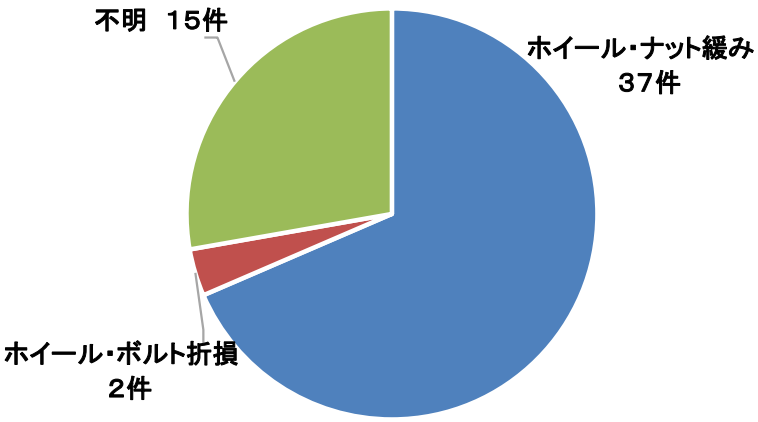
n=54



・ 初度登録から8年以上経過している車両で多く脱落している傾向（対前年度19件増）

タイヤ脱落時の原因

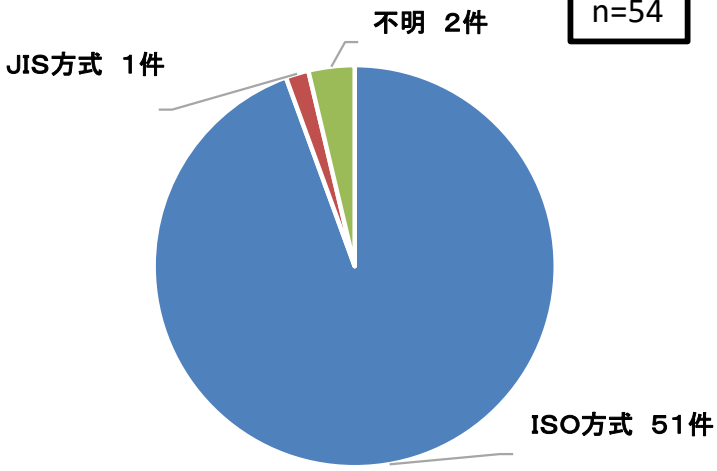
n=54



・ 大半はホイール・ナットの緩みによるもの

締め付け方式

n=54

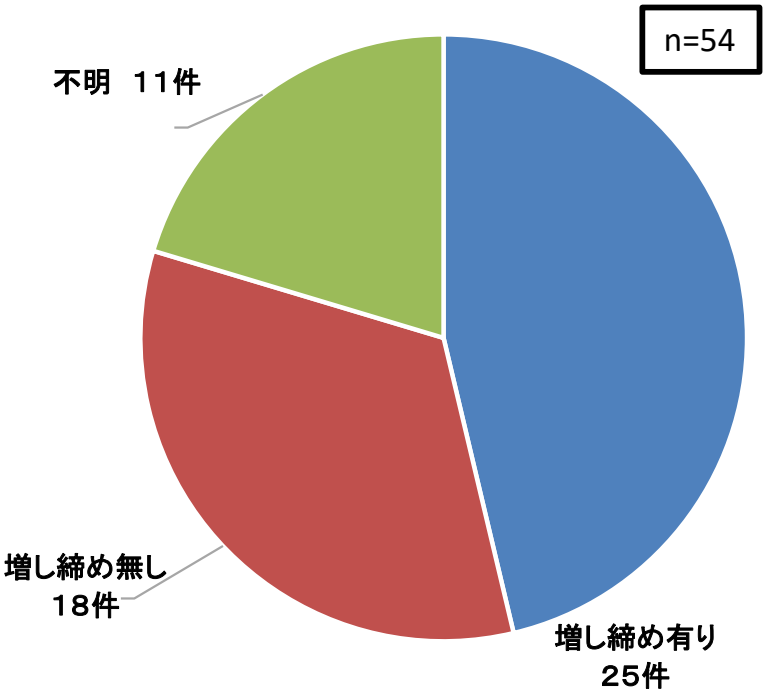


・ 大半はISO方式

出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

東北管内車輪脱落事故発生状況（令和４年度）

脱着作業後の増し締め実施の有無

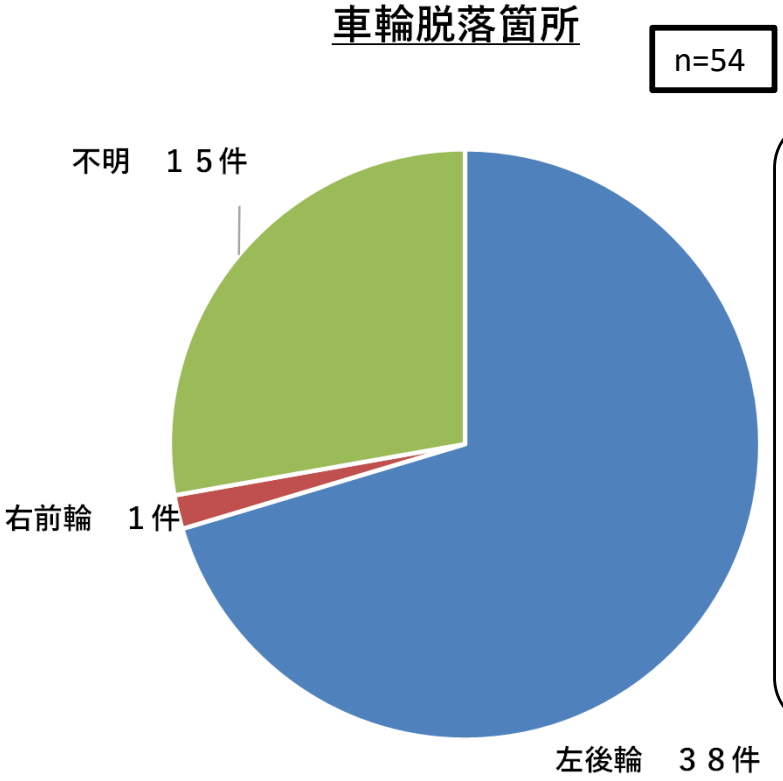


「増し締め有り」25件について、脱落の主な推測要因
- ホイール・ボルト等の劣化・摩耗
- ホイール・ボルト、ナット等のネジ部、ハブ面の錆・汚れ

- 「増し締め有り」25件は、大半が大型車ユーザー自ら車輪脱着作業を実施し、増し締めも実施しているが、1ヶ月以内に脱落事故が12件発生している。
- 車齢8年以上経過している車両が15件と大半を占めている。
- 経年劣化の影響もあり、ネジ部、ハブ面の錆、汚れ等の除去不十分や潤滑剤の塗布不十分等により、適正な締め付け力を得られず脱落に至ったと推測。
- 日常点検において、確認が不十分であり、緩みに気づくことができず脱落に至ると推測。

【対策の方向性】
- ネジ部、ハブ面の錆、汚れ等の清掃作業や適切な潤滑剤の塗布を実施
- 劣化、摩耗が進んだホイール・ボルト、ホイール・ナット等は早めに交換
- 日常点検等における、マーキング、ホイール・ナットマーカー等の活用

車輪脱落箇所



左後輪タイヤの脱落割合が高いことの推定原因
- 左後輪タイヤが多く脱落する原因については以下の可能性が考えられる。
- 右折時は、比較的高い速度を保ったまま旋回するため、遠心力により積み荷の荷重が左輪に大きく働く。
- 左折時は、低い速度であるが左後輪がほとんど回転しない状態で旋回するため、回転方向に対して垂直にタイヤがよじれるように力が働く。
- 道路は中心部が高く作られている場合が多いことから、車両が左（路肩側）に傾き、左輪により大きな荷重がかかる。
- 前輪は、ホイール・ナット緩み等の異常が発生した場合、ハンドルの振動等により運転手が気付きやすい。

出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

【別紙2】

防ごう 大型車の 車輪脱落事故

事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。

お・と・さ・な・い

おとさぬための点検整備

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ唯一かつ最善の手段です。

トルクレンチで適正締付

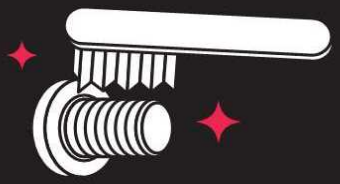
適正なトルクレンチによる規定トルクの締め付け、タイヤ交換後の増し締めの実施。

動画をチェック!

正しい点検方法や連結式ナット回転指示インジケーターの使用方法をご案内しています。

さびたナットは清掃・交換

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブの取付面、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、追加塗装などを取り除きます。



ナット・ワッシャー隙間に給脂

ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑油を薄く塗布し、回転させて油をなじませてください。

いちにち一度は緩みの点検

運行前に特に脱落が多い左後輪を中心に、ボルト、ナットを目で見て手で触って点検します。

「お・と・さ・な・い」を**徹底**しよう!

Mr. 整備くん

詳しい情報は日本自動車工業会ホームページへ
http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/

国土交通省　自動車点検整備推進協議会　大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会　日本自動車工業会(いすゞ自動車　日野自動車　三菱ふそうトラック・バス　UDトラックス)
全日本トラック協会　日本バス協会　全国自家用自動車協会　日本自動車整備振興会連合会　日本自動車販売協会連合会　全国タイヤ商工協同組合連合会　日本自動車タイヤ協会
全国石油商業組合連合会　日本自動車車体工業会　日本自動車輸入組合　日本自動車機械工具協会　日本自動車機械器具工業会　自動車用品小売業協会　日本自動車車体整備協同組合連合会